LINEで仕事を(第6回)

彼女に送るつもりが上司に…LINEの誤爆防止法

2019.10.18

LINEは、コミュニケーションの取りやすさが最大のメリット。その半面、送り間違いも起こしやすい。彼女に送るつもりのメッセージを上司に送ってしまった…。これは絶対にしたくない間違いだ。ここに上司の悪口を書いていたりしたら、進退問題にも発展しかねない。

間違ってメッセージを送ってしまうことを、ネットスラングでは「誤爆」と呼ぶ。友人同士ならまだしも、仕事関係者への誤爆は絶対に避けなければならない。誤爆を防ぐテクニックを紹介しよう。

トーク画面のまま画面をオフにしない

トーク画面を開いたまま画面をオフにすると、バッグの中で画面がオンになってしまい、意味不明なメッセージを送ってしまう可能性がある。また、開いたままだと、相手を確認せずにメッセージを送ってしまうかもしれない。トークが終わったら、特定相手とのトーク画面のままではなく、少なくともトーク一覧の画面に戻しておく習慣を付けよう。そうすることで、いやでも「誰に送るのか」をそのたびに確認するようになる。

送信ボタンを押さないと送信できないように

メッセージを入力し、「Enter」キーを押すとそのまま送信できる設定にしている場合は、入力途中で間違って送信してしまうことが多い。相手間違いとは少し違うが、目上の人なら、あまりヘンな状態で送信しない方がよい。



「ホーム」左上の設定アイコンをタップして開いた画面で「トーク」をタップし、「改行キーで送信」をオフにする

間違ってはいけない相手は間違いにくい名前に変更する

相手の名前の表示は、相手が設定したものになっている。例えば、部長なのに「Toshi」などのニックネームが表示名の場合もある。さらに「toshiki」という親しい友だちがいたりすると、誤爆のもとだ。そんな場合は、表示名を変更しよう。表示名は自分の画面でだけ変更されるので、相手には気付かれない。



変更したい相手のアイコンをタップしてプロフィール画面を開き、鉛筆マークをタップして表示名を変更する

間違ってはいけない相手やグループは、背景を変更しておく… 続きを読む